

## 救急隊の技術を確認



当署では、6月2日から4日の3日間、救命の最前線に立つ救急隊が傷病者役を人形ではなく職員とし、リアリティを重視した中で活動技術を発揮する様子を署長が確認しました。確認項目は、救急現場到着後、関係者からの状況聴取、傷病者に対する接遇と容態観察、救命資器材の適正な活用など多岐にわたり、定められた時間内に安全・確実・迅速な活動が展開されました。急病、火災、交通事故のほか現代ではコロナ感染者の対応、さらには熱中症による救急要請も増加することが予測されます。今後も救急隊は様々な状況に対応できるよう日々訓練を重ねてまいります。都民の皆様には『救急車の適正利用』についてご理解とご協力をお願いいたします。